



事務連絡
2024年4月24日

職員各位

薬事委員会
委員長 水野伸一

薬事委員会 会議結果報告

2024年4月17日に開催された薬事委員会での審議結果を報告いたします。

1. 別記載の医薬品3品目3規格と後発医薬品1品目1規格を採用医薬品に追加する。
2. 別記載の医薬品18品目18規格を院外処方限定医薬品に登録する。
3. 別記載の医薬品1品目1規格の採用医薬品を変更する。
4. 別記載の医薬品1品目1規格を削除する。

以上

2024年4月院外処方限定医薬品

- ・サラゾピリン錠500mg
- ・ベポタスチンベシル酸塩OD錠10mg
- ・ペンタサ顆粒94%
- ・ラピフォートワイプ2.5% 1包2.5g
- ・ツムラ温清飲エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ加味帰脾湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ加味逍遙散エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ啓脾湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ三黄瀉心湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ清心蓮子飲エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ大防風湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ治打撲一方エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ当帰建中湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ当帰湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ二朮湯エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ抑肝散加陳皮半夏エキス顆粒（医療用）
- ・ツムラ芎藭姜朮甘湯エキス顆粒（医療用）

2024年4月採用変更医薬品
ドキサゾシン錠1mg「NP」

ドキサゾシン錠1mg「トーワ」

販売中止



2024年4月削除薬品一覧表

薬効分類

3999i 骨吸収抑制剤

薬品名 (削除理由: 特に記載なければ処方頻度減少による)

ゾメタ点滴静注 4mg100mL (後発品に変更)

新規採用医薬品

<p>ホーリンV 腔用錠1mg あすか 2529i 成分: エストジオール 《禁忌》エストロゲン依存性悪性腫瘍(乳癌、子宮内膜癌等)及び疑い(悪化、顕性化)、本剤成分に過敏症の既往歴、妊婦又はその可能性(安全性未確立)。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>膣炎(老人、小児及び非特異性)、子宮頸管炎並びに子宮腔部びらん 1日1回0.5~1mg(腔内挿入) 《重大な副作用》ショック、アナフィラキシー、血栓症[不明]。 室温</p>
<p>白色軟膏 丸石 712i 成分: サラシツノウ、ソルビタンセスキオレイン酸エステル、白色ワセリン</p>	<p>効能 貯法</p>	<p>軟膏基剤、皮膚保護剤 室温</p>
<p>ダイフェン配合顆粒 鶴原 6290J 成分: スルファメトキサゾール/トリメトプリム(ST) 《禁忌》本剤又はサルファ剤に過敏症の既往歴、妊婦又はその可能性(催奇形性)、新生児、低出生体重児(高ビリルビン血症)、グルコース-6-リン酸脱水素酵素[G6PD]欠乏(溶血)。</p>	<p>効能 用法 警告 副作用</p>	<p>合成抗菌剤: 他剤耐性菌で他剤無効又は使用不可の場合 a) 一般感染症<適応菌種>本剤感性の腸球菌属、大腸菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフス菌、シロバクテラ属、クレブシエラ属、エンテロバクテラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンス・レトゲリ、インフルエンザ菌<適応症>肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス b) ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制<適応菌種>ニューモシスチス・イロヘチ<適応症>ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制 用法 a) 1日4g(分2) b) 治療: 1日9~12g(分3~4)、小児1日15~20mg/kg(分3~4) 発症抑制: 1日1~2g(分1)連日又は週3回、小児1日4~8mg/kg(分2)連日又は週3回 警告 《血液障害、ショックに注意。投与は他剤無効または使用不可時のみ》 《重大な副作用》再生不良性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、トヘモグロビン血症、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症、血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、溶血性尿毒症症候群(HUS)、ショック、アナフィラキシー、中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑、薬剤性過敏症症候群、急性膵炎、偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎、重度肝障害、急性腎障害、間質性腎炎、無菌性髄膜炎、末梢神経炎、間質性肺炎、PIE症候群、低血糖発作、高K血症、低Na血症、横紋筋融解症[不明]。</p>

新規採用後発医薬品

<p>セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」 サンド 6132 成分: セフェピム塩酸塩: CEPM 《禁忌》本剤成分に過敏症の既往歴。《原則禁忌》セフェム系に過敏症の既往歴。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>セフェム系抗生物質 [a] 一般感染症<適応菌種>本剤感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタールリス、大腸菌、シロバクテラ属、クレブシエラ属、エンテロバクテラ属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンス属、インフルエンザ菌、シュードモナス属、緑膿菌、バクテロイデス属、フレボテラ属(フレボテラ・ピビアを除く) <適応症>敗血症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、扁桃炎(扁桃周囲膿瘍含む)、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、子宮内感染、子宮旁結合織炎、中耳炎、副鼻腔炎、] b) 発熱性好中球減少症 用法 3日をめやすに投与、原則14日以内 a) 1日1~2g(力価)、分2(静、点滴静)、難治性・重症: 4g(力価)まで b) 1日4g(力価)、分2(静、点滴静) 静脈内注射の場合は注水、生食、ブドウ糖に溶解し緩徐に静注。点滴静注の場合は糖液、電解質液又はアミノ酸製剤などの補液に加えて30分~1時間かけて点滴静注する。 副作用 《重大な副作用》ショック、アナフィラキシー、急性腎障害、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、偽膜性大腸炎、間質性肺炎、PIE症候群、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、肝機能障害、黄疸、精神神経症状[不明]。(類薬)溶血性貧血。 貯法 遮光、室温</p>
---	---------------------------------	--

整理医薬品在庫表(2024/4/10現在)

内服		現在庫量	単位	一包数	薬価単位	薬価	総額薬価	薬効分類	備考
1	ドレニゾンテープ	15	枚	1	枚	62.60	939.0	副腎皮質ホルモン製剤	使用期限2024/7
							939.0	①内服合計	